

第8回静岡市ひきこもり支援講演会

参加無料

ひきこもるということ
「折り合うに付き合う」支援論から



日時

2024年11月23日（土祝）
14:00～16:00

会場

〒420-0851
静岡市葵区黒金町5-1
静岡県勤労者総合会館3階
（静岡労政会館の建物の3階）
ALWF（アルーフ）ロッキーセンター
公共交通機関または有料駐車場をご利用ください。

申込期限

11月13日（水）
定員に満たない場合は募集期間を延長します。

定員

会場 70名 Zoom 50名（先着順に受付）
申し込みは裏面の申込フォーム（QRコード）
電話・FAXから受け付けます。

第1部 講演会

ひきこもるということ 「折り合うに付き合う」支援論から



芦沢茂喜氏
（あしざわ しげき）

精神保健福祉士、社会福祉士。精神科病院での勤務などを経て、山梨県職員となる。精神保健福祉センターなどを経て、現在は山梨県峡東保健福祉事務所精神保健福祉相談員として勤務している。2013年より、ひきこもり相談を本格的に受け、集団活動、就労支援などに取り組む。また、積極的に訪問を行い、2020年7月に放送されたNHK『クローズアップ現代+』では『ひきこもり支援 つながりをどう保つ？』と題して、訪問の様子などが特集されている。著書に『ひきこもりでいいみたい～私と彼らのものがたり～』『ふすまのむこうがわ～ひきこもる彼と私のものがたり』などがある。

第2部 対談

芦沢茂喜氏 × 荻野達史氏



荻野達史氏
（おぎの たつし）

静岡大学の人文社会科学部・社会学科に1999年より勤務。専門は社会学で、2001年よりひきこもり支援機関でのフィールドワークを開始し、支援方法や政策、ひきこもりの社会的背景などについて論じてきた。静岡市ひきこもり地域支援センター（DanDanしずおか）の受託団体である認定NPO法人サンフォレストの代表を2023年より務める。主な著作物としては、『ひきこもりへの社会的アプローチ：メディア・当事者・支援活動』『ひきこもり、もう一度人を好きになる：仙台わたげ、あそびとかかわりのエスノグラフィー』など。現在は、職場のメンタルヘルスについても研究中。

講演会への参加を希望します。

FAXでお申し込み

申し込みフォーム

260-7470



氏名	
フリガナ	
メールアドレス	
連絡先（携帯）	
所属	
聴取方法	会場 Zoom （どちらかに○をご記入ください）
住所	

来年の支援講演会のチラシ送付をご希望の方はご住所のご記入をお願いいたします。
所属団体への送付をご希望の場合は団体のご住所をご記入ください。

- ・感染症拡大に伴い国の方針に変更がある場合などには、あらかじめご連絡させていただく可能性がございます。
- ・Zoom希望者にはID、パスコード、資料をメールにて送付いたします。11月19日までにメールが届かない場合は主催者までお問い合わせください。

この講演会についての問い合わせ先



静岡市ひきこもり地域支援センター DanDan しずおか（主催）



054-260-7755



dandan-shizuoka@forest.ocn.ne.jp

共催：（公財）静岡県労働者福祉基金協会



ロッキーカレッジ